

## 様々な色の文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法

文書管理番号：1162-03

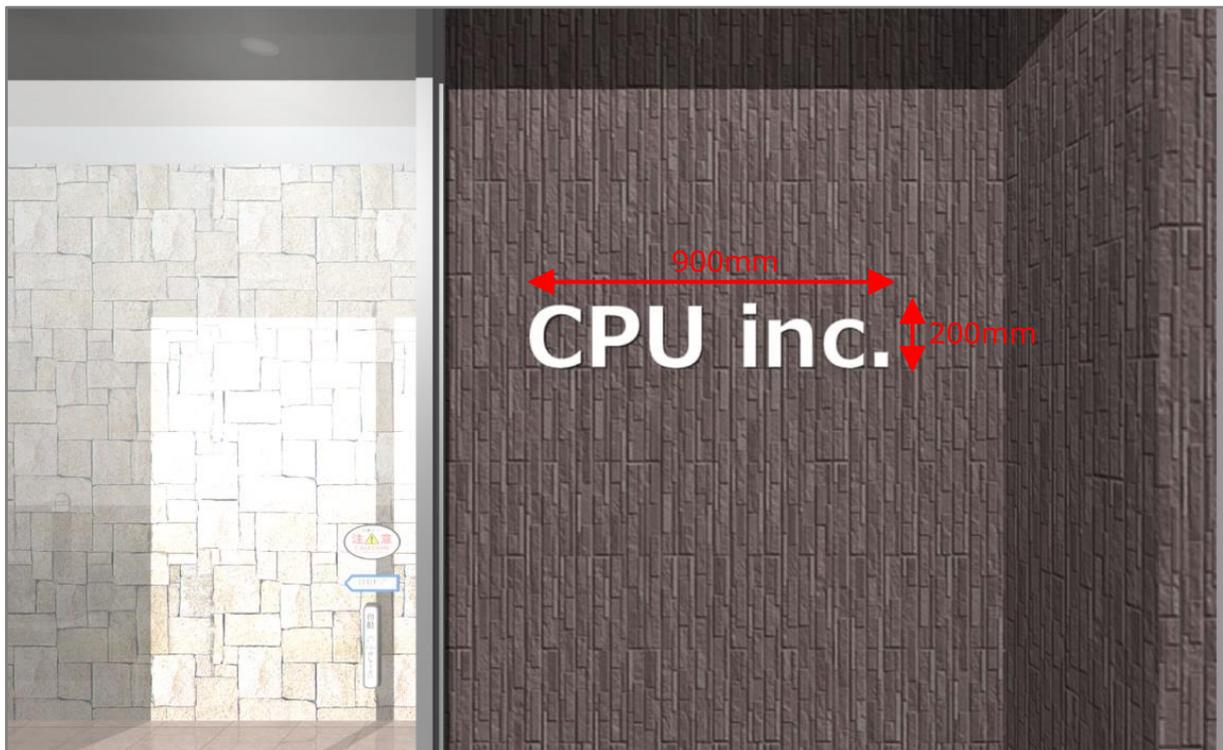
### Q.質問

白色や薄い色など、黒色以外の文字（サインロゴ）を壁に貼り付けたい。

### A.回答

壁に貼り付けたい文字色のベース画像と、透過部分を示した文字のマスク画像を用意し、その画像をA's（エース）の3D色定義ツールで部材色として登録します。プラン図と3Dパースで設定することで、壁に文字（サインロゴ）を表現できます。

ここでは外壁に、図のようなサインロゴを貼り付ける方法を説明します。



濃い色の文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける手順については、こちらをご覧ください。

[\[1122\] 文字（サインロゴ）を壁に貼り付ける方法](#)

表札や看板を3Dパースで表現する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1244\] 表札や看板をパースで表現する方法](#)

## 画像データの準備

3D色定義ツールのマスクイメージを利用して、様々な色のサインロゴを表現できます。

マスクイメージとは、ベースとなる画像と透過する領域を示した画像（マスク）の組み合わせにより、文字などの形状のみをパースに表現する手法です。

画像データは、ベース画像とマスク画像の2種類を準備します。

画像データは画像編集ソフトを使用し、BMP、JPG、TIFF、PNGいずれかの形式で用意してください。

 (デザイナー)の  (The Present)または  (The Retouch)でも作成できます。

### ● ベース画像

ここでは、白色の文字を表現するので、白色の画像データを準備します。



- \* 上図では、分かりやすいよう周囲を枠線で囲っていますが、枠線の無い画像を準備してください。
- \* 表現したい文字の色に応じた画像データを準備してください。

### ● マスク画像

背景（透過したいところ）を黒色、文字部分（表現したいところ）を白色にした画像を準備します。

外壁に 900mm×200mm の大きさにロゴを貼り付けますので、貼り付けるロゴの大きさにあわせて、縦横比が 9 : 2 の画像を準備します。

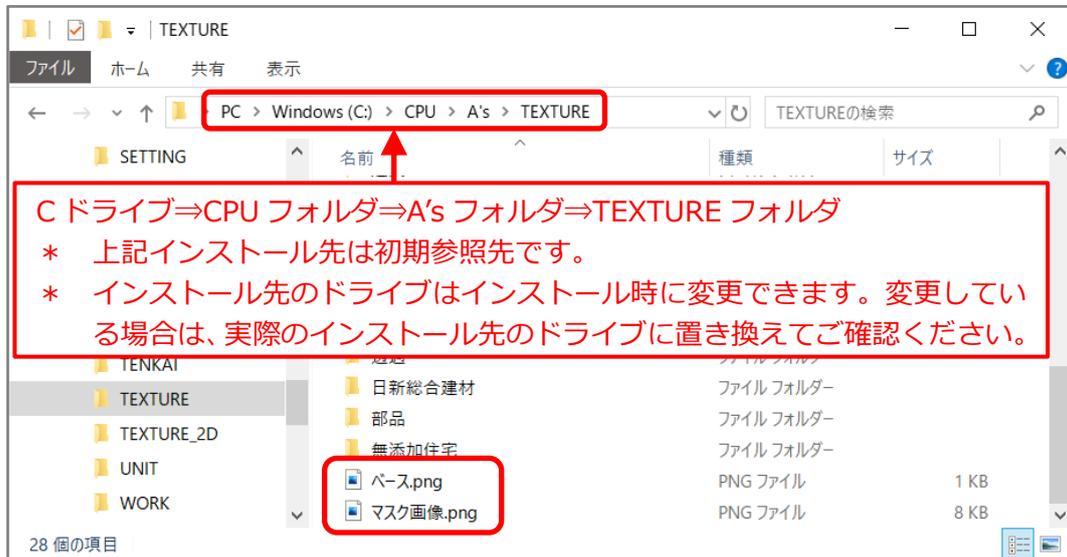


- \* 背景の透過度は、黒色が高く、白色に近づくほど下がります。
- \* 画像の作成方法については、使用する画像編集ソフトによって異なるため省略します。

## ● 画像の保存

ベース画像、マスク画像は、インストール先の「A's」フォルダ内の「TEXTURE」フォルダに保存してください。

\* ここではベース画像を「ベース」、マスク画像を「マスク画像」のファイル名で保存します。



## 画像データの登録

① デスクトップの (A's (エース)) をダブルクリック

\* 「A's (エース)」グループの画面が表示されます。

② (各種ツール) をダブルクリックし、「色定義」フォルダをダブルクリック

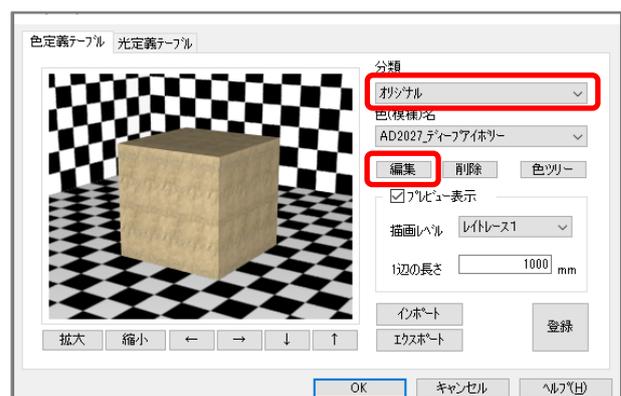
③ (3D 色定義ツール) をダブルクリック

\* 色定義ツールの画面が表示されます。

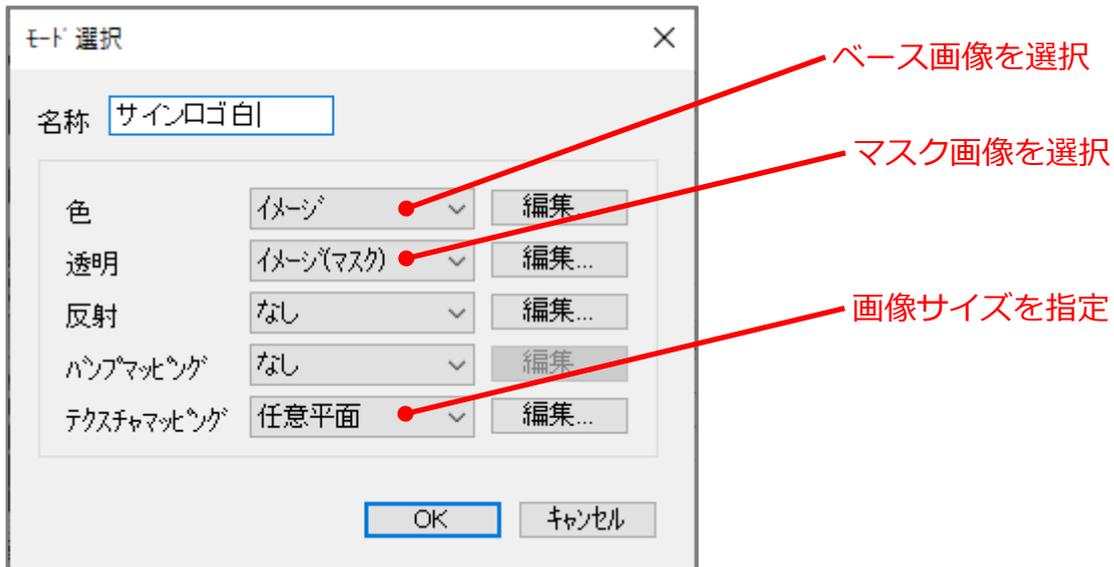
\* 物件を起動し、3Dパースの部材色変更画面から「色編集」をクリックし、「色定義ツール」を起動してもかまいません。

④ 分類を「オリジナル」に変更し、「編集」をクリック

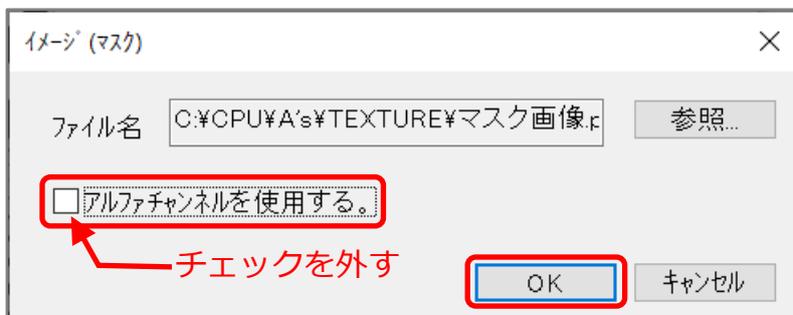
\* モード選択画面が表示されます。



⑤ 各項目を変更

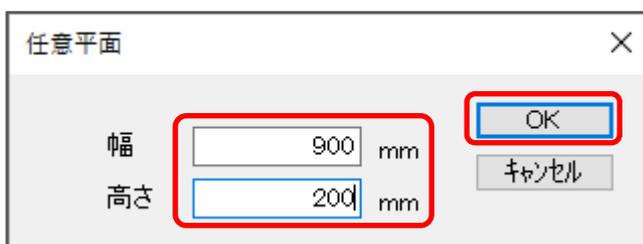


- 名称→「サインロゴ白」
  - \* ここでは「サインロゴ白」で登録しますが、任意に設定してください。
- 色→「イメージ」に変更し、開くの画面から、P.3「画像の保存」で「TEXTURE」フォルダに保存した「ベース」の画像ファイルを選択し、「開く」をクリック
- 透明→「イメージ(マスク)」に変更し、イメージ(マスク)画面で、「アルファチャンネルを使用する。」のチェックを外す。「参照」から、P.3「画像の保存」で「TEXTURE」フォルダに保存した「マスク画像」の画像ファイルを選択後、「OK」をクリック



**【注意】**  
 「アルファチャンネルを使用する。」にチェックが入っている場合、使用できる画像形式が限られます。  
 チェックを外してから「参照」をクリックしてください。

- 反射→「なし」
- バンプマッピング→「なし」
- テクスチャマッピング→「任意平面」に変更し、表示される任意平面画面で幅「900」、高さ「200」に設定後、「OK」をクリック

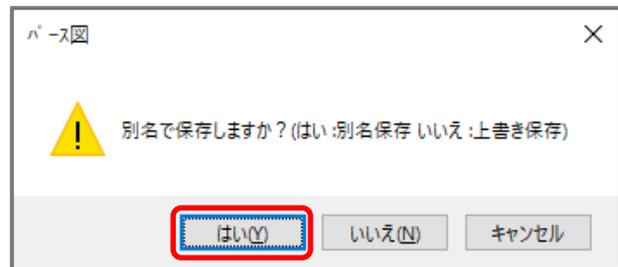


\* 幅、高さは実際に貼り付けた際のサイズを入力します。

- ⑥ モード選択画面の「OK」をクリック
- \* 「別名で保存しますか?」と表示されます。

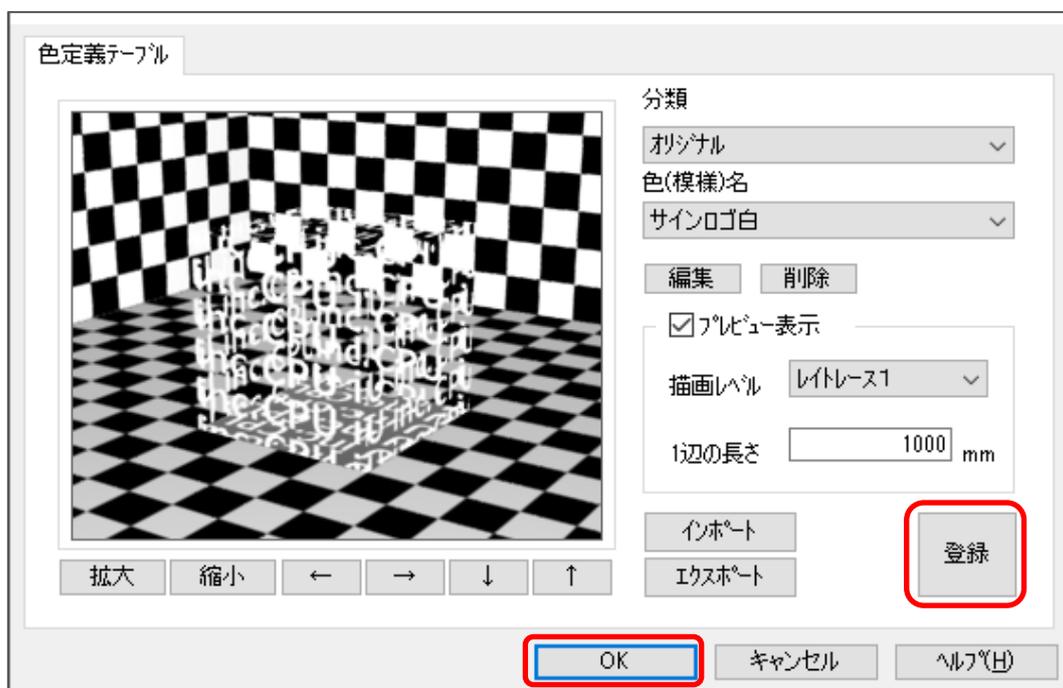
- ⑦ 「はい」をクリック

- \* 「いいえ」をクリックすると上書き保存になり、元のテクスチャが消えてしまいます。必ず「はい」をクリックしてください。



- \* 色定義ツール画面に戻ります。

- ⑧ 「登録」をクリックし、「OK」をクリック



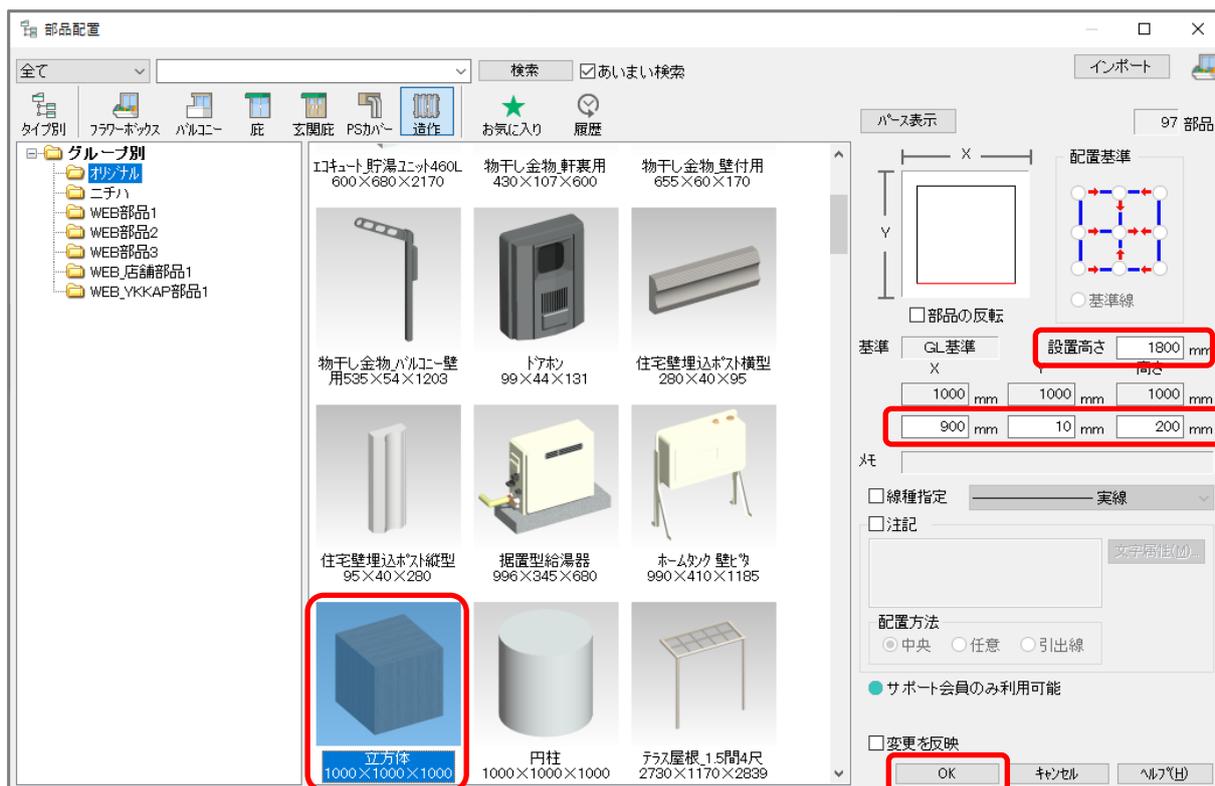
- \* ここで「登録」しないまま色定義ツールを閉じると、追加・編集した内容が正しく保存されません。必ず「登録」をクリックしてください。

### 【注意】

使用した画像データは、P.4 操作⑤で指定した参照先から移動、削除しないでください。指定した参照先に画像データがないと、3D パースで部材色が反映しなくなります。

## プラン図での操作

- ①  (プラン図)を起動
- ②  (付属品)の  (造作部品)をクリック
  - \* 部品配置画面が表示されます。
- ③ 立方体をクリックし、部品の X、Y、高さ、設置高さを変更し「OK」をクリック



- \* サインロゴのサイズにあわせ、X「900」、Y「10」、高さ「200」、設置高さ「1800」に設定します。

### 【参考】立方体の厚み (Y)

立方体の厚みは、文字を壁に貼り付けた際の壁からの離れになり、文字の表現に影響します。

薄くすると文字が壁に貼りついた表現になり、厚くすると文字が壁から離れて浮いた表現になります。

文字自体は画像のため立体ではありませんが、立方体の厚みを厚くし、サインロゴを壁から離すことで影が生まれ、立体的に見える効果があります。

- ④ 入力モードが  (壁付配置) になっていることを確認し、配置したい位置で起点、終点をクリック

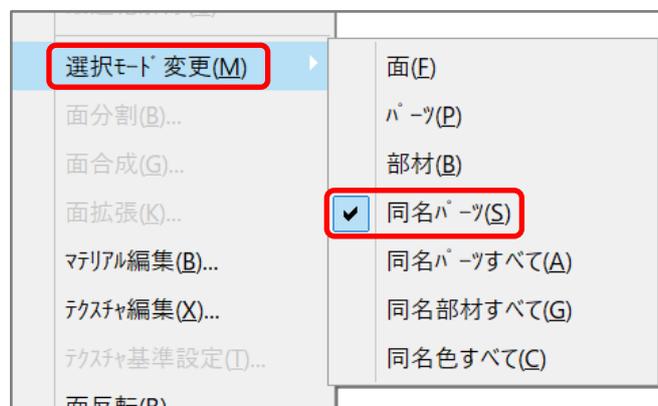


\* 立方体が壁に埋まらないよう、配置方向に注意してください。

## 3D パースでの操作

- ①  (3D パース) を起動

- ② 右クリックメニューの「選択モード変更」から「同名パーツ」を選択



- ③ プラン図で配置した立方体を選択後、右クリック

- ④ 右クリックメニューから「最適化解除」をクリック

\* 「最適化」されているとグループ化の影響で作業に制限がかかるため、解除します。



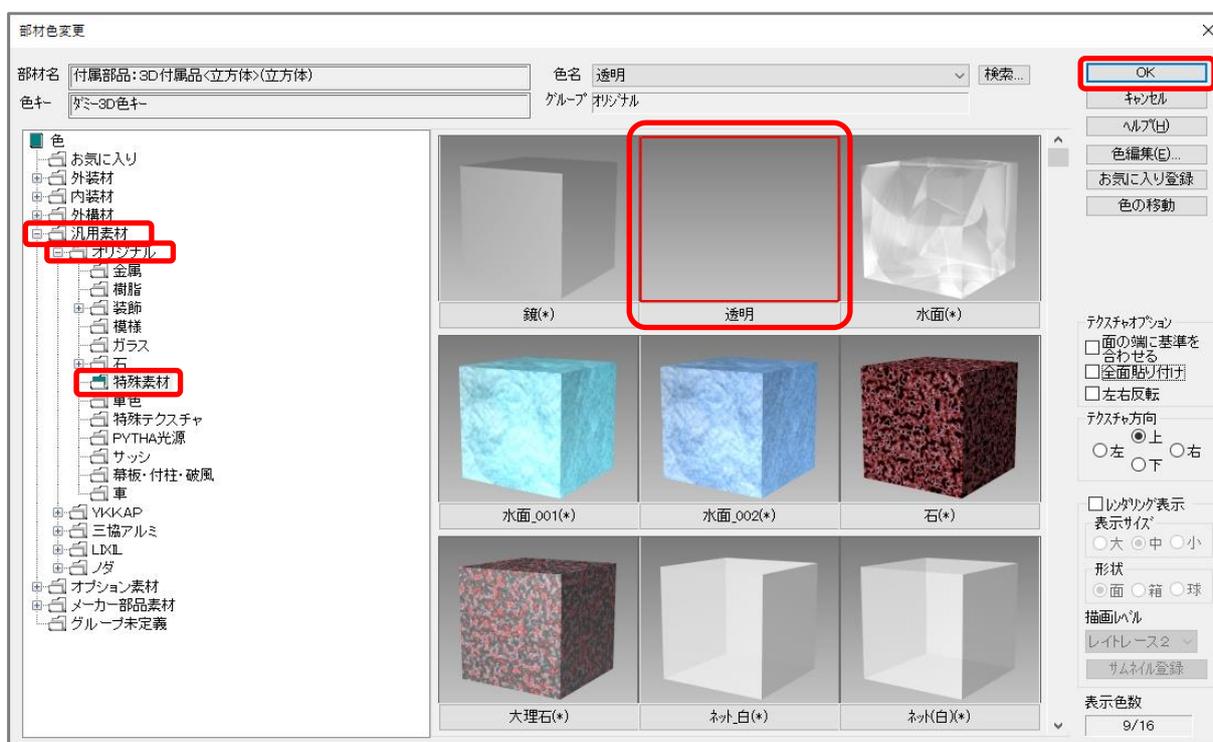
- ⑤ 再度、立方体を選択後、右クリック

⑥ 右クリックメニューから「部材色変更」をクリック



\* 部材色変更画面が表示されます。

⑦ 「汎用素材」⇒「オリジナル」⇒「特殊素材」から「透明」を選択し、「OK」をクリック



\* 立方体が透明になります。

⑧ 右クリックメニューの「選択モード変更」から「面」を選択

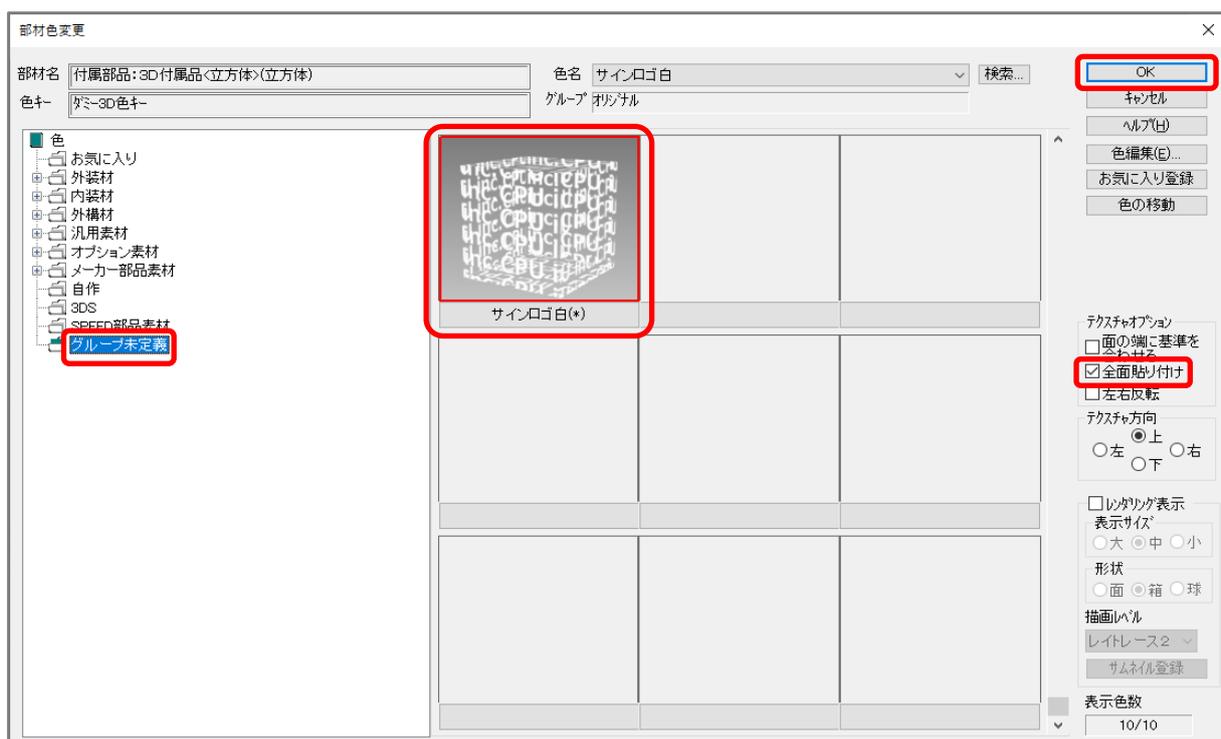


- ⑨ 立方体を選択後、右クリック
- ⑩ 右クリックメニューから「部材色変更」をクリック



\* 部材色変更画面が表示されます。

- ⑪ 「グループ未定義」から「サインロゴ白」を選択し、テクスチャオプションの「全面貼り付け」にチェックを入れて「OK」をクリック



\* 「全面貼り付け」にチェックを付けると、選択した面全体に画像を引き伸ばして貼り付けることができます。

\* 白色のサインロゴが表示されます。

## ⑫ レンダリングを行い確認

**【注意】**

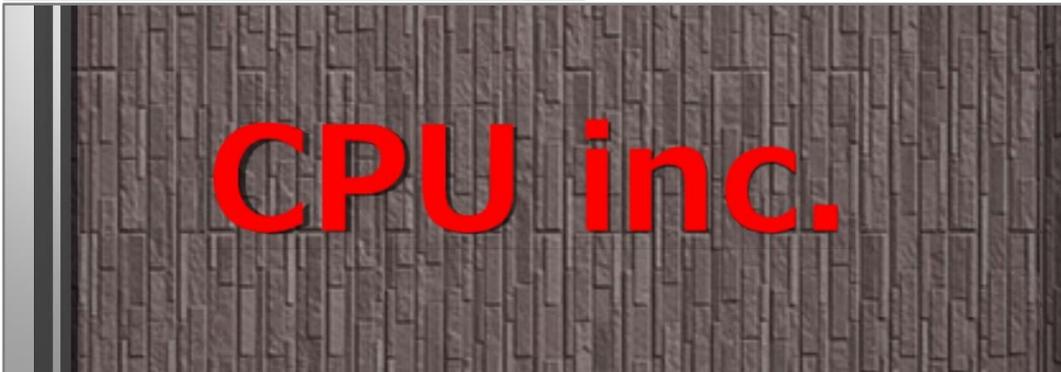
- \* 立方体の部材色を「透明」に設定しても、視点方向や光の方向、レンダリング手法によっては、立方体の形状が表示されてしまう場合があります。その場合は、立方体の正面（サインロゴを貼り付けた面）を除く5面を非表示にすると目立たなくなります。
- \* ファイナルギャザーの場合、立方体の影のようなものが表示される場合があります。その場合は、レイトレースを使用してください。
- \* この方法はA's 3D Playerには対応しておりません。  
マスク領域に基づいた透過処理がされず、ベース画像がそのまま表示されます。

## 参考

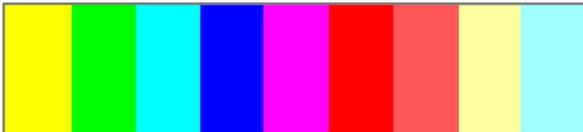
ベース画像によって、様々な色のサインロゴを表現できます。

\* マスク画像は P.2「画像データの準備」で準備した画像と同じ画像を使用しています。

## &lt;ベース画像&gt;



## &lt;ベース画像&gt;



## &lt;ベース画像&gt;



グラデーション画像を使用することで光沢感を表現できます。(グラデーションの向きには注意が必要です。)

